

CONTENTS

- 2 県連通常総会 / 県青連総会 / 県女連総会
- 3 小さな会社の「知財まさか！」防止塾
- 4 未来を応援 / 商工会の福祉共済

第753号

令和8年7月1日発行
(毎月1日発行 発行部数18,950部)

元気企業紹介

いちご農家が300年の伝統を守る！ 事業承継による鮎料理店との 二刀流!!

運上館 / かとういちご園

揖斐川の地に根ざし、先代が大切に守ってきた鮎料理の味とおもてなしの心を、いちご農家である私たち家族が受け継ぎました。当店が提供するの、幾多の時代、多くの貴人や美食家たちを唸らせてきた、岐阜・揖斐川の歴史そのものです。百年、いや数百年続く「清流の特等席」で、時を超えた美味をご堪能ください。



▲店舗外観

事業承継に至るまでの経緯



▲ブランド苺「美濃娘」

令和7年に運上館を事業承継する前は、「かとういちご園」と建設業（とび職）の兼業をしていました。現在も栽培している「美濃娘」は、甘味と酸味のバランスが良く、岐阜県を代表するブランド苺です。そうした中で、いちご農園のお客様でもあった、運上館の前店主より「店を引き継ぐことができる人を探している」という相談があったため、建設業に替わる部門として、事業承継により鮎料理店の経営に家族で挑戦するという大きな転換期が到来しました。

商工会支援を活用した取り組み

商工会の事業計画策定支援を受け、各部門の特徴や月別の業務フローを分析。夏季は鮎料理部門、冬季は

いちご農園部門をメインに据えて、2部門を両立しながら売上利益を確保していく事業計画を策定。さらに、日本政策金融公庫の事業承継融資の斡旋といった資金繰り支援を受けて、「いちご+鮎」の二刀流への挑戦が始まりました。

引き継ぎについては、従前から調理場の中心を担っているベテラン料理長の継続雇用を含め、前店主の協力的な配慮があり、「伝統の味」を円滑に受け継ぐことができました。



▲「季節の旬 清流の良さ 新鮮さ」が詰まったコース料理

また、新体制での夏季営業開始後に、プレスリリースを実施した結果、中日新聞に「老舗のアユ料理店に挑戦」の記事が掲載。その反響により、東海テレビニュースONEで「岐阜名物家族で守る伝統の味」の特集が放送。先代から続く常連客に加え、県内外の多くのお客様にご来店いただいています。

これからの展望

運上館の歴代店主が築き上げてきた伝統を守りながら、将来的には「鮎料理×いちごメニュー」によるシナジー（相乗効果）を生み出すことも計画しています。暑い日が続きますが、この夏はぜひ、自然豊かな揖斐川町にお越しください。（所属 揖斐川町商工会）



運上館
UNJOKAN
代表 加藤 三幸

📍 揖斐郡揖斐川町房島一区
☎ 0585-22-0677 予約優先
🕒 11:00 ~ 14:00
🗓 毎週木曜日
🕒 営業期間 6月中旬～10月中旬

HP▶



Instagram▶







▲坂井田県連会長

県連合会 令和8年度通常総会を開催

県連合会では、5月27日(水)、令和8年度通常総会をOKBふれあい会館で開催しました。

坂井田良道会長は日頃の本会事業活動への協力に対する謝意を述べ、『中東情勢の緊迫化によりコスト上昇が引き起こされ、事業者には柔軟な経営対応が求められている。こうした中で、岐阜県の「小規模事業者パワーアップ応援補助金」では、新たな申請枠を創設することで、人手不足への対応や職場環境整備に取り組む事業者を幅広く支援してきた。今年度は倍増となる約10億円の予算措置を頂き、一層強力に支援を展開している』と挨拶を行いました。

続いて、永年、商工会の健全な運営に貢献した役員に贈られる役員功労者表彰、並びに令和7年度商工会加入推進運動に功績のあった商工会の表彰が行われました。

次に、ご臨席頂いた来賓4名よりご祝辞を賜りました。

議事では、令和7年度事業報告書、一般会計収支決算書、特別会計収支決算書、岐阜県商工会連合会定款の改正(案)、岐阜県商工会連合会手数料及び使用料徴収規約の改正(案)、役員候補欠選任が上程され、5議案とも原案どおり可決承認されました。

令和7年度事業報告 TOPICS

●小規模事業者パワーアップ応援補助金による経済効果

県連合会が事務局となり運営する当事業により、事業者の「稼ぐ力」強化と「働いてもらい方改革」を推進しました。404件の申請から292者が採択され、補助事業の実施に県内事業者が積極利用され、約4.7億円の経済効果を生み出しました。

●職員の支援力強化事業「スーパーバイザー事業」が2025年版小規模企業白書に掲載

県連合会では経営指導員の支援力向上を目的に、毎年外部講師(スーパーバイザー)による実践的な研修を実施しています。指導員の支援スキルを可視化・評価して能力向上を図るこの取り組みは、2025年版小規模企業白書に先進事例として掲載されました。

◆被表彰者

○役員功労者表彰

関市西商工会	会長	井上一郎
北方町商工会	理事	林政宏
安八町商工会	理事	古澤洋二郎
大野町商工会	理事	井川清正
大野町商工会	理事	草野哲郎
大野町商工会	理事	長沼恵子
関市西商工会	理事	松田隆夫
笠原町商工会	理事	各務功治

○商工会加入推進運動表彰

高山西商工会
東白川村商工会
白川村商工会
大野町商工会
柳津町商工会
川辺町商工会

◆新役員 ●理事 長尾達美(白川町商工会 会長)

(敬称略)

令和8年度 岐阜県商工会青年部連合会

テーマ「繋ぐ～学びと共感～」

5月8日(金)、令和8年度県青連通常総会をグランヴェール岐山で開催し、第1号議案「令和7年度事業報告、収支決算、貸借対照表及び財産目録の承認について」から第3号議案「令和8年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)の決定について」まで原案どおり可決承認されました。また、第1回リーダー講習会ではフリーアナウンサーの清水健氏から「大切な人の『想い』とともに、今できることがあるならば」について、講演をいただきました。



リーダー講習会 清水氏



牧野会長

岐阜県商工会
青年部連合会
HP



令和8年度 岐阜県商工会女性部連合会

テーマ「しなやかに寄り添いつなぐ未来へ」

4月28日(火)、令和8年度県女連通常総会をグランヴェール岐山で開催し、第1号議案「令和7年度事業報告、収支決算、貸借対照表及び財産目録の承認について」から第3号議案「令和8年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)の決定について」まで原案どおり可決承認されました。また、第1回リーダー講習会では県庁の県民生活課 塚本氏、商工労働政策課 奥村氏、神奈川県逗子市商工会の三ツ井氏の3名から、講演をいただきました。



リーダー講習会



奥村会長

岐阜県商工会
女性部
『きらりすと』



小さな会社の “知財まさか!”防止塾

人ごとではない知財のまさか! 池田先生から実例を交え、トラブル回避の処方箋を全10回で紹介頂きます。

第1回

小さな会社ほど知財で損をする

知財は“遠い話”ではなく、すぐ隣にあるはじめまして。20年の現場で見てきた“まさか!”

MAI国際知的財産事務所
所長弁理士 池田 抄太郎



この連載を担当させていただき弁理士の池田です。企業勤務、知財コンサル、大手事務所勤務を経て独立し、現在は飛騨市で国際知財事務所を運営しています。約20年の知財キャリアの中で、個人事業主から上場企業まで数多くの相談を受けてきましたが、実は最も深刻な知財トラブルに巻き込まれやすいのは“小さな会社”です。「店名が使えなくなった」「ロゴの権利が自社にない」「ネットの写真を使ったら警告が来た」——どれも“まさか!”という声とともに持ち込まれる典型例です。

●知財は“特別な会社の特別な話”ではない

知財と聞くと、「大企業の話」「特許なんて関係ない」と思われがちです。しかし、実際に知財と最も密接に関わっているのは、皆さまが日々使っている店名・商品名・ロゴ・写真・文章・デザインです。つまり知財とは、専門家だけが扱う難しい世界ではなく、事業者なら誰もが毎日触れている“生活必需品”のような存在なのです。ところが、目に見えない権利であるがゆえに、気づかないうちに他人の権利を踏んでしまったり、自社の大切な名前やデザインを守らないまま使い続けてしまったりしています。

●小さな会社ほど“一発アウト”のリスクが大きい

ネット時代は、同じ名前の店や似たデザインが全国から一瞬で見つかります。「うちは地域密着だから大丈夫」「昔から使っている

から問題ない」——こうした思い込みが、突然の警告書や使用差止請求につながることも珍しくありません。小規模事業者にとって、店名変更や商品回収は経営に直結する大きな負担です。だからこそ、“知らなかった”を防ぐための小さな習慣が、会社を守る大きな力になります。

●今日からできる“まさか防止”を一緒に

知財は、難しい専門知識を覚える必要はありません。まずは、

- 名前・デザイン・情報には権利がある
- 使う前に少しだけ確認する

この2つを意識するだけでも、多くの“まさか!”は防げます。この連載では、皆さまの事業で起こりがちな知財トラブルを取り上げ、今日からできる具体的な対策をわかりやすく紹介していきます。次回は、最も相談が多い「店名・商品名の“まさか!”」をテーマに、実例を交えながら解説します。





未来を応援

株式会社 MIZNO

「作善堂 -SAZENDO-」ブランドの次なる挑戦
—大判タイル洗面台の開発と生産内製化の実現—

■ ガーデンシンク・タイルシンクの「作善堂-SAZENDO-」

同社は、タイル製品の企画・製造販売を中核とする企業です。2013年の法人設立以来、自動車関連事業と並行してタイル事業を展開してきましたが、2025年4月に自動車部門を分社化し、経営資源をタイル事業に集約しました。主力ブランド「作善堂-SAZENDO-」では、美濃焼のモザイクタイルを使ったシンク製品を自社工場で一貫製造しており、オーダーメイドから量産まで柔軟に対応可能です。地元職人の技術・設備を継承し、地域資源を活かした高意匠・高品質なものづくりを実現しています。



事業所外観

■ 新商品の開発と販路開拓

タイルシンクは開業以来高評価をいただき現在も安定的な受注がありますが、新たな収益源の確立が課題となっていました。こうしたなか、既存モザイクタイル製品に加えて、新たに高級路線の「大判タイル洗面台」の開発に着手し、建築設計事務所や住宅施工業者など空間提案力を重視する高付加価値市場への展開と新規顧客層の開拓に取り組む方針を固めました。

■ 洗面台の自社一貫製造体制の確立に向けて

従来のモザイクタイル製品等の単品製造・販売から、空間演出型製品への転換を図るなか、コスト削減・品質安定化、納期短縮化による高付加価値商品の提供体制を整備する必要性がありました。商工会は、稼ぐ力の強化と新たな働く環境づくりの両面から支援すべく、「令和7年度小規模事業者パワーアップ応援

補助金(岐阜県小規模事業者持続化補助金)」の活用を提案。経営計画策定に向けて代表者と協議を重ね、具体的な事業計画についても綿密な策定支援を行いました。補助金の採択を受けて大判タイルの高精度切断・加工が可能な切削機を導入し、生産工程の内製化が実現。コスト削減・品質安定、納期短縮化も図ることができました。また、子育てや介護等の家庭事情を抱えた従業員がノートPC導入により日常業務の在宅勤務可能な環境を整備し、新たな働く環境づくりにも寄与することができました。



タイルシンク



大判タイル切削機

■ 成果と今後の展望

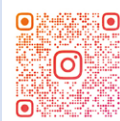
今年で14周年を迎えた同社は、モザイクタイル製品の強みを活かしつつ、新商品「大判タイル洗面台」による空間演出という新たな高付加価値市場に挑戦しています。今後、建築設計事務所や住宅施工業者をはじめとする新規顧客層へのアプローチを本格化させ、さらなる販路開拓を目指します。商工会は、今後も同社の挑戦の伴走支援を続けていきます。(笠原町商工会)

株式会社 MIZNO

代表取締役 水野 典康
多治見市笠原町 2724-1
0572-44-2260



▲HP



▲Instagram

あなたも家族もまるごと守る! 頼れる補償の **商工会の福祉共済** 毎月ご加入いただけます!! 全国商工会会員福祉共済

大切な、商工会会員の皆さま、だからこそ**加入**できる**特別な制度**です!

ご加入できる方
商工会の会員とその家族、会員の従業員とその家族、商工会・連合会の役職員とその家族であって健康な方が対象となります。
〔「病気」の補償および「トータルがん」補償、シンプル「がん」補償の場合、健康状態に関する告知義務があります。〕

※ただし2025年11月1日時点での満年齢が満6歳以上満80歳以下(シニア医療特約・シニアトータル「がん」プラン・シニアシンプル「がん」プランでは新規ご加入は満74歳以下の方に限ります。)

「家族」とは…①配偶者、父母、子 ②同居かつ扶養している祖父母・兄弟姉妹・孫 ③配偶者の父母をいいます。
※万一、商工会からの脱退や退職等により、加入者資格を喪失した場合には、お手数ですが、ご加入の商工会へご連絡くださいますようお願いいたします。

さらに福利厚生も充実!
福祉共済加入者・被共済者の皆様は、自動的に商工会プラチナ倶楽部の会員になり、「ベネフィット・ステーション」(運営:ベネフィット・ワン)の優待サービスをご利用いただけます!

お問い合せ・資料請求はご加入の商工会まで

